

科目名 Course Name	保育内容総論 General theory of Childcare			ナンバリング No.	K1-008		
年次	1年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	久保田 隆範						
連絡方法	C-ラーニングで対応。または講義棟2階研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(保育士養成課程・幼稚園教職課程履修学生は必修)						
関連 DP	DP1、DP2、DP3						
授業の概要と到達目標	<p>幼稚園・保育所・認定こども園の現状や実際の保育に触れていながら、保育の全体的な構造や保育内容 5 領域を理解し、捉えていく。同時に、保育内容の歴史的背景や変遷、子どもの発達段階に応じた特性、生活・遊びの変化についても学んでいく。</p> <p>① 保育内容を保育事例の中から総合的にとらえることができるようにする。 ② 保育事例を通して、判断力を伴った保育の展開を考えることができるようにする。 ③ 幼稚園教育要領と教育課程、保育所保育指針と保育課程を知り、保育の実践を考えることができるようにする。</p>						
授業の方法	「調べる・考える学習」を重視した授業展開として、グループワークやディスカッションも取り入れる。又、保育所と幼稚園の保育現場理解に向けて、実践事例を示しながら解説していく。保育の専門用語や保育の歴史に関わる人物などは分かりやすく説明し、保育の知識を得る場とする。						
学習成果	L01						
	L02	保育の基本と保育内容の具体的領域を理解した上で、乳幼児期の保育の重要性を説明することができる。					
	L03	様々な保育事例からの学びを通して、自分なりの保育活動や内容の提案ができる。指導計画の基本的な構成を理解した上で、作成ができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	発表に対するコメントは、その場で教員、及び聴講学友から与えられる。各課題に関しては、授業内に各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	教科書:①子どもと共に学びあう演習・保育内容総論(みらい)、②平成 29 年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本(チャイルド本社)						
履修上の留意点やルール等	保育者を目指す者として、目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。従って、私語・居眠り・授業に無関係の行動・不参加は「授業参加態度」において減点の対象とする。私語を慎み、真剣に受講すること。事前・事後学習時間の目安は各回 45 分相当とする。						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:プレリーダー・研修講師 職歴:6年) 実践現場での多様な経験を、あそびの重要性や環境構成の説明、指導案作成の際に活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	ディスカッション場面では他者の意見を尊重しつつ自分の考えを述べ、発表聴講の際には的確な質問ができることが望ましい。		30		
レポート/作品	評価Sは、指示されたテーマに対して詳細に課題を探究し、内容構成もしっかりしており、課題の要件を十分に満たしていること。		30		
発表					
小テスト	評価Sは、設問に対する要求を満たし内容構成もきちんとしており、更に、授業内容及び資料等にかかれている範囲を超え、自己の考え方も示されていること。			40	
試験					
その他					
合計			60	40	

回数		授業計画
1	授業内容	授業概要(シラバスの説明、保育内容とは、授業の進め方と受講の仕方)
	事前・事後学習	事前学習はとりあえず必要無いが、事後学習としてリアクションペーパーを課す。
2	授業内容	幼稚園、保育所、認定こども園の現状-5 領域のねらい及び内容を踏まえて-
	事前・事後学習	幼稚園、保育所、認定こども園の違いについて調べてまとめる。
3	授業内容	幼児教育・保育において功績のある思想家達 フレーベル・モンテッソーリ・倉橋惣三
	事前・事後学習	各思想家がいた当時の時代背景を調べてまとめる。
4	授業内容	幼稚園教育の開始と保育施設の整備
	事前・事後学習	日本における、幼稚園と保育所の始まりについて調べてまとめる。
5	授業内容	保育実践の歴史的背景と保育内容の変遷-各領域の変化と特性に応じた保育実践-
	事前・事後学習	事後に、授業内容を踏まえて保育内容の変遷を整理し、まとめる。
6	授業内容	乳幼児の発達と、子どもの生活と遊び-身体・言葉・心の視点から-
	事前・事後学習	事後に、授業内容を踏まえて発達段階を整理し、まとめる。
7	授業内容	言葉を使ったあそび-領域言葉のねらい及び内容を踏まえて-
	事前・事後学習	言葉を使った遊びについて調べてまとめる。
8	授業内容	幼稚園教育要領・保育所保育指針を読み解く-全体構造と指導上の留意点- 小テスト
	事前・事後学習	幼稚園教育要領・保育所保育指針を読み、不明点を整理しておく。
9	授業内容	保育課程・教育課程と指導計画 1 保育、幼児教育における計画と評価の意味
	事前・事後学習	保育課程・教育課程の言葉の意味を調べてまとめておく。
10	授業内容	保育課程・教育課程と指導計画 2 指導計画の作成(保育・教育課程を踏まえて)
	事前・事後学習	指導計画とは何かについて調べてまとめておく。
11	授業内容	保育課程・教育課程と指導計画 3 模擬保育と振り返り
	事前・事後学習	事後に、他学生の実践からの学びや気づきをまとめる。
12	授業内容	多様な保育実践展開から考える-言葉や表現を引き出す環境や保育者の在り方-
	事前・事後学習	各園が行っている保育実践を調べて、興味を持った活動を整理しまとめる。
13	授業内容	幼児教育・保育現場における情報機器の活用-実践事例を通して考える-
	事前・事後学習	保育現場における、情報機器の活用事例を調べてまとめる。
14	授業内容	小学校との連携-領域言葉と国語科のつながり-
	事前・事後学習	幼少連携の意味について調べてまとめる。
15	授業内容	幼小連携・幼小接続の現状と課題-5 領域の視点から- 小テスト
	事前・事後学習	幼少連携の実践事例について調べてまとめる。